

## 大雨対策(複数の改善対策)

台風などの大雨では、短期的に大量の雨が降ります。少しでも早く排水するため、複数の対策を行っている事例を紹介します。

事例(京丹波町中)

7月27日に43mmの雨が降った翌朝ですが、水たまりは見られません。どのような排水対策が取られているか見ていきましょう。



次の3枚は、7月3日災害級の大雨の翌日の写真です。排水は良好です。

広い畑ではありませんが、うねの中央付近で直交する溝を掘り、排水口に直結することにより、中央付近の排水を促進しています。(7月4日)





右上段の水田から漏水があり、それを排水する法面下の溝と排水口を設置しています。(7月4日)



うね立て・定植時の畑で、全景を見てみましょう(6月22日)

排水口計5か所、左側の水田法面下の排水溝と、うね中央付近にうねと直交する溝も設置されています。



定植時の普通のうねですが、最初の写真(7月28日)では土寄せで高うねになっているのがわかります。

これから実施可能な排水対策を組合せ、大雨でも速やかな排水を可能にしています。